

日本クリスチャン・アシュラム連盟

春季号

開 心  
静 聴  
充 満  
献 身  
奉 仕

# 日本アシュラム

United Christian Ashrams of Japan

Spring 1977

▼連盟は創始者祈りによって各地に生れたファミリーの全国的な文  
りであって、常に新しい家族(単位)の参加を期待している。

## 生きがいある人生

岡 田 実

「今日に至るもなお、モーセの書が朗  
読されるたびにおおいが彼らの心にかか  
っている。しかし主に向く時には、その  
おおいは取り除かれる。主は霊である。  
そして、主の霊のあるところには自由が  
ある。わたしたちは、みな顔おおいなし  
に、主の栄光を鏡に映すように見つ、  
栄光から栄光へと、主と同じ姿に変えら  
れていく。これは霊なる主の働きである」  
コリント第二3・12-18

この御言葉は、スタンレージョンズが  
召される約十年前、即ち彼の信仰が円熟  
の最高峰のとき述べた、サレンダー(明  
け渡し)に就いてのテキストであった。  
このテキストは、今も私の心をとらえ  
ている。そして、このテキストは、サレ  
ンダーに就いて二つのことを示す。①サ  
レンダーはキリストのめぐみによるもの  
であり、決定的には聖霊の御働きであ  
る。②めぐみによって、主イエス・キリ  
ストが私たちの罪を赦し、且つ人生の御  
支配者となられる。その時生まれながら  
の自我は解放され、真の自由が与えられ  
る。そして、めぐみのうちにサレンダー  
が継続されるならば、主と同じ姿、即ち  
神の子にふさわしい栄光の実が与えられ  
るのである。

サレンダーとは自我の主権を神に明け

わたし、自我に代ってキリストがわたし  
たちの主権者又は支配者となって下さる  
ことである。

サレンダーをするために、私たちの側  
にも正しい姿勢をととのえる必要があ  
る。それは①人神に喜ばれる人生を送る  
うと決心することVであり、第一は砕か  
れた心である。即ち己が業によらず、キ  
リストの義がなければ、今日も生きられ  
らいたの砕かれた心である。②は人自分  
の生涯を完全に神に任せよう決心する  
ことですVロマ12・1-2即ち、神のめ  
ぐみによって、神に喜ばれる者として、  
自分のからだを生涯を残すことなく捧げ  
させて下さいと決心することである。感  
情的に願うだけでなく、意志でハイと受  
けとることである。③は人自分の罪を聖  
霊が示して下さいのまま、同意して、みと  
めることであり、告白すると云うこと  
であるVわたしたちは、特別に聖人にな  
るために、深刻になって罪を掘りさげる  
必要はない。ただその都度、聖霊が示し  
て下さることを素直にみとめ、同意すれ  
ばよいのである。そうして、ヨハネ第一

1・9の御言葉「もし、わたしたちが自  
分の罪を告白するならば、神は真実で正  
しいかたであるから、その罪を赦し、す  
べての不義からわたしたちをきよめて下

「山根可式著  
『アシュラムの恵』(百円)

さる」とあるように罪の赦しの約束を信  
仰でうけとめればよいのである。(主は  
そのために十字架にかかり、私たちの罪  
を永遠に全く赦して下さったからであ  
る。)(ヘブル10・12-14と17)と罪の赦  
しを保証されるのである。

これでサレンダーにあづかる即ち神の  
御支配にあづかるスタートは切ったが、  
更に大切なことは人聖霊に満されないV  
エペソ5・8(新改訳)を受けとること  
である。換言すれば、イエス・キリスト  
を御支配者として、サレンダーと同時に  
迎えなさいとの命令を受けることであ  
る。だから聖霊に満されていても、いな  
くても、どちらでもよいと云うことでは  
ない。聖霊に満されていなければ命令違反  
となり、罪となるのである。

神の命令には裏づけの約束がある。「わ  
たしたちが何事でも神の御旨に従って願  
い求めるなら、神はそれを聞きいれて下  
さる」ということである」ヨハネ第一・5  
・14  
神の願いは、凡てのクリスト者が、聖  
霊に満され(支配されて)、生まれなが  
ら古い人(自我支配)から新しい人(聖  
霊による支配)に再創造されて、人々の  
間に神の国(新しい世界)を、イエス・  
キリストをあかして、再創造するため  
に、私たちを必要としておられるのであ  
る。だから私たちが再創造されるとき、  
どんな仕事や業をしていても、人生の目  
標を知り、生き甲斐のある人生を発見で  
きるのである。(新宿西教会牧師・関東  
アシュラム委員)

編集人 山根可式  
発行人 大石 嗣郎  
定価 一部 50円 50円

### 第七回東京城北アシュラム報告

去る二月十一日江古田教会にて

#### 城北五教会連合主催

東京の城北にある池ノ上、中野バプテスト、新宿西、江古田の四教会に今年から天門教会も連合に加わって、数回の準備祈祷会を牧師役員有志が守り、二月十一日(信教の自由を守る日)の朝九時半から、中野区の江古田教会に続々と集合してきた同信の友を迎えた。

主題「御子イエス・キリストとの交わり」と大書した掲示が聖壇の上に張出されていて、今回のアシュラムの目的が「同の心に早くも明確にされた。」

開会礼拝(午前十時)が海老沢宜道牧師の司会で初まる。師は詩篇三七篇の御言を取次ぎ「主に委ね、信頼し、黙して待ち望め」とのメッセージを与えられ、一同開心のために良き助言を受けた。その中に「アシュラムの五大原則」についてオリエンテーションもあり、江古田教会聖歌隊による「アシュラムの歌」が捧げられ、早くも靈潮の高まりを覚えた。十一時から一同の開心が初まった。主に明け渡す者、さんげする者、必要を訴える者などが続々と立上った。天門の有馬歳弘牧師の折りを以て終了。

中食は、(分ち合いの時)を兼ねて階下で一同が取る。小川忠夫伝道師の司会で各教会から感話がなされ楽しい交わりの時であった。午後一時、「静聴の時」

は岡田実牧師の司会助言によって、テキストのヨハネ第一一章から二章を通して共に主の御声を聴き、恵みの分ち合いを共に祈った。

午後二時「恵みの時」には山根可式牧師が司会助言者となり、「ルツ記のアシュラム精神」について特異のメッセージを伺うことができた。三時から「祈りの細胞」(五分団)に別れ、草村美、有馬、海老沢、小川、山根の五名が座長として奉仕、互に必要を述べ祈りの互助をして恵まれた。四時から「充滿献身の時」を大久保進牧師の司会助言で守る。ヨハネ第一三章二節の「主に似るものとなる。真の御姿を見るから」と十八節の「口先だけの愛でなく行いと真実をもって愛し合おうではないか」と奨励、一同主の愛の充滿するのを覚え、各自今後の決意を表明し、輪になって手をつなぎ、海老沢牧師の折りを以て閉会した。

当日の参加者は天門十三、池ノ上十一、新宿西八、中野二、江古田十八、高円寺二、カトリック一、合計五十七名。感謝。

#### 感謝

天門教会 有馬 歳弘

主の聖名を崇めます。「城北アシュラム」では一方ならぬお世話になりました。有難うございました。またおみやげまで頂き、帰ってからもファミリーアワーで感謝でした。教会員も祝福され、礼拝では三名の兄弟が証しをしてくれました。コカコーラのように「スカッとさわやか」な気分になれたとは、一姉妹の言です。感謝申し上げます。

### 第六回西川口アシュラム

山根理事を迎えて開く

西川口教会(横山義孝牧師・関東地区委員長)では毎年二月に教会単位のアシュラムを開いているが、今年には去る十九日(土)夕刻から、山根可式牧師を迎えて、翌二十日(日)午後三時半までのミニ・アシュラムを開いた。近隣の教会にも呼びかけたので参加者は五五名の多数となり感謝であった。

主題は「聖霊に満されよ」と定め、テキストはヨハネ福音書十四章を中心にして一同、明渡しと静聴の時を持った。山根師には前夜の開心の時、聖日朝の礼拝説教、最後の充滿の時に助言者として御奉仕を願ったが、その間に五大原則についての解説もなされ、参加者の中には信仰の火が消えかけていた人もあり、一同が聖霊を新たに受けて、復活の経験を与えられたと喜び溢れた人が出た。

各個教会においてこのようにアシュラムが守られるようになったことは感謝の至りである。

### クリスチャン・アシュラムの守り方(七)

海老沢 宣道

#### ▽労作の時

「労作の時」を期間中一日のうち中食の前後に置くのがよいと思います。

この時間は参加者一同が境遇や社会的地位を忘れて兄弟であることを体験するために行われる今一つの方法であります。これによって教会や家庭に帰ってからも、実際に手足を動かして奉仕する人間となるためでもあります。アシュラムの間となるためにも必要としている近隣の施設や海外の伝道や救済事業の応援計画などを立てて実行に移すことも考えられたいと思います。

この時間の指揮者としては「ファミリーアワー」で前以て男子一名をパロ王、女子一名をパロ女王として選挙しておきます。その時、委員長は英国の貴族たちが国王を選んだ時の言葉を述べます。

「今あなたと同様に善人である私たちは、私たち以上には善人でないあなたに告げる。私たちはあなたを私たちの自由と法律とを守り、私たちと共に働くために備えられた支配者として選ぶ。故にもしそのように働く用意がなければ、あなたはパロ王(女王)ではない。」

そして用意した紙製の王冠を、彼(彼女)をひざまづかせて冠せませす。一同の拍手が起ることでしょう。聊か余興的ですが、和やかな空気が生れるものです。

### アシュラムの五大原則

(一) キリストへの明渡し

ロマ 十章 九節

証しのページ

アシュラムの恵み

池の上教会 家弓 三従子

「立ちてゆけ」と、主に運ばれて、再び東京へ転居、五年ぶりに見る母教会の主と共に前進されつつある姿に目を見張りました。集会毎に各自が当日静聴して頂だいたみ言の恵みの分ち合いがなされます。熱心にすすめられて、関東アシュラムに、はじめて参加しました。み靈にゆだね運ばれ、み靈の自由を体験した身は、常に、完全に主に支配された歩みをと切望しますが、自ら逆い妨げるものを覚え、これを取り扱っていただけ度く、主に期待しました。開心の時、分団での祈求の時、み言の学び、そして連鎖祈禱、翌朝の静聴の時、すべてが今迄の集会のあり方と違っていました。会衆が主の前にひとりの人のように静まって、先ず、み言に聞き、探られ、靈の交わりが深められてゆきます。そして分ち合い、湧き出てくるみ言の喜びは、凡てをキリストに在って溶かしてゆきます。連鎖祈禱では、濃厚な主の臨在の前に、ガラテヤ章十六節から二六節迄が示され、一時間がまたたく間に過ぎ去りました。自分の姿があらわに示されると共に、主のご愛がせままってまいります。本当に感謝でございます。顔のおおいが取り除かれて、目から、うろこが落ちたようでした。そのことは、具体的に高慢、非礼をお詫びする行為へと移されてゆきまし

た。アシュラムを体験させていただき、感謝に耐えませんが、是非とも多くの愛児姉に体験していただきたいと願います。主のご再臨の間近い今、限らない憐みをもって、私共を完全に、ご自身のものとしてきよめ、満たし、豊かに実を結ばせようとする主、何者なれば、かく逆愛し恵み給うのか、とただ勿体なく、み靈の御助けによって、額面どおり、「イエスは主なり」の生涯を前進させていた

だき度いと祈ります。

「主に在る交り」

深谷教会 伊藤 愛信

此の度のアシュラムに参加して私はアシュラムとは使(二の四二)のコイノニアを体験する集いである事を新しく教えられ強く心に刻みつけられました事を感謝致しております。実は七月初頃より健康を害しまして礼拝以外の集いを一時休まねばならぬ所迄静養を必要と致しました。主の御恩寵により快復し大いなる感謝をもって参加致しました。ところが牧師から委員会に報告されておったのでしよう。お逢いする委員の先生お一人々々から私の出席を我が事の様に喜ばれ私の為に主に在る家族の一員としての祈りが捧げられておった事を知りまして本当に感激致しました。お互いに愛し合う事に感謝する事がアシュラムでありそれによって自分の事より他人の為に祈る事が本筋である事を教えられました。朝毎の静聴によって主に祈りを導かれつつ

とりなしの祈りが続けられます事を願っております。

信仰の喜び

東京山手教会 菅 根 武(談)

今回初めて小金井で催されたアシュラムという集会に参加することができました。開心の時から強力な聖霊のお導きを感じ、終日次々に展開される恵みの御座にまた祈りの分団で心を静めて御声を聴き全てを主に明渡しして、ほんとうに信仰の喜びというものを体験することができました。かえり見ると今日までの信仰生活が全く欠けだらけであったことを知らされ、新生して主に従う決意を与えられ、感謝にたえません。次の機会にもぜひ出席いたしたいと思っています。

感謝

春日井市 木村 常子

先生には益々ご健勝のこととご推察いたしてお喜び申し上げます。名古屋で中部アシュラムでは神様のみ言を格調高くお取次ぎ頂き、身に沁みてその愛の深さに感銘いたしました。本当に有難う存じました。頂きました八み言はわが足の灯しび、わが道の光なりVとの聖句そばにおき、唯々神を見上げて導きを乞い共にいて下さることを願っての毎日を過しております。松原先生から当日の記念写真をご恵送頂き、先生のお姿を拝見して懐しきの余りペンをとりました。先生の上に神様が愈々み栄をお現わし下さいませようお祈り申し上げます。海老沢先生へ

- (三) 聖霊の啓導と充満
- (四) 神の国の体験と献身
- (五) 教会への奉仕と伝道

さてパロ王は一同に「労作の歌」をうたってもらってから、前以て委員たちと打合せた計画に従って、一同をそれぞれの部署に配置して労作を初めるわけです

▼ファミリー・アワー

「家族の時」は一日に一回夕食前などに設け、委員長が適当な人が司会に当たって、参加者一同の親交の時として守ります。アシュラムでは参加者全員が一人の神の家族となるのです。従って互に兄弟姉妹と呼び合うのがよいと思います。できれば姓名より個人名で、恒徳兄弟とか可弑兄弟、ゆう姉妹とか向子姉妹と言います。

この時間には今回のアシュラムについての意見や希望を述べ合い、地区の決算や予算その他年間の計画についての報告や予定を話し合います。そして勿論全てが主イエスのお導きの下に御心になんか進行するように祈りを篤くします。また前記「労作の時」の指揮者としてのパロ王とパロ女王とを参加者の中から選挙して戴冠式を行うこともこの時間であり

ます。地区委員(次年度)の改選も行います。成べくは初めての参加者でなく、少くとも二回以上参加した経験のある者の中から選ぶことが大切です。このような全員の参加協力を得るとき、参加者が一人もアシュラムのお客様ではなく、自分も「神の家族の一員」であるとの意識をはっきりと持つようになることでしょう。

連盟の活動に就て

総務 大石 嗣郎

日本クリスチャン・アシュラム連盟とは何か。その必要性はどこにあるのか。本連盟についてのご理解とご協力を頂くために少々述べようと思えます。

アシュラムとは日本では故スタンレー・ジョーンズ博士が昭和三十年に初めて開催された退修会のことです。

その後も先生は来日される度に各地で開かれたが、最後の第十回全国伝道の時に博士が八地区にアシュラム委員会を組織されました。そして帰米に際し、高瀬、海老沢、大石の三名に接手の祈りを授け、「ぜひ私が来ない時も各地でアシュラムを守りよう、これらの委員会の全国的な連絡をとり、相互に助け合い、アシュラムの火を継承してほしい」と言い残されました。

これを受けた三名は博士との約束を守り各地の委員長に呼びかけ、翌四七年五月に東京で十五名参集の下に連盟の結成を見たのです。つまり各地の委員会が先に生れ、連盟は連絡協調のために後から生れたものです。各地の教会にアシュラム精神を浸透させることが目的で、連盟の強化は目的ではなく、むしろ連盟が必要になるほど、各個教会でアシュラムが守られる時の来ることを祈っている次第です。

目下の所は必要上、各地区に委員会(前号四頁記載)が設けられ、また全国

協力のため連盟理事会を置いています。序で乍ら今期(五一―二年度)の理事名を記しておきましょう。

(理事 長) 海老沢宜道

(副理事 長) 中路嶋雄

(総 務) 大石嗣郎

(書 配) 横山義孝、内村サムエル

(会 計) 鈴木留蔵、萱沼孝文

(常 任) 山根可式、池本金三郎

(地区代表理事)

(道南) 白川鄭二(東北) 村上東(関

東) 横山義孝 (中部) 内村サムエル

(関西) 中路嶋雄、後宮俊夫、林勝義

(中国) 谷本清(四国) 宇都官充(九

州) 山本繁夫(福岡) 高瀬恒徳

(以上十七名)

本連盟に協調するアシュラムは指導者を特定個人に限らず、全理事の協力によるので「日本」と言い、各種修養団体でもアシュラムと称するものがあるので「イエスは主である」を告白する点から「クリスチャン」アシュラムと明記することにしています。

事業としては年四回季刊紙を発行して連絡協調をはかる他に、希望に応じて各地のアシュラムに、前掲の十七名の中から助言者を派遣しています。今年も各地から右助言者の御希望を総務までお申出で下さることを期待しています。

北米の連盟はもとより、インド、欧州南米など世界の連盟と祈りを共にして、「世界アシュラム」の開催にも協調し、第一回エルサレム、第二回インドと開か

れましたが、第三回をわが日本で開くようにとの要望が来ています。

また第一回日本アシュラムの誓約(前号第一面参照)が成されてから今年は二十二年目ですが、近く二十五年を迎えることであり大いに祈りを篤くして新しい展開を望んで進みたいと願っています。

◆予告◆

第十六回関東地区アシュラム

今から各教会で祈り備えて参加しよう  
日時・本年九年(二)日(木)二四日(土)まで

会場・箱根強羅・地塩苑  
主題・「主イエスとの出会い」  
聖書・エペソ書一―三章  
詳細は五月の委員会で確定の上お知らせします。乞御期待。  
(委員長 横山 義孝)

▽大阪ミニ・アシュラム

日時・五月三日(火)午後七夜まで  
会場・大阪市北区神山町 扇町教会  
助言者・山根可式理事  
(委員長 中路 嶋雄)

右地区の兄弟姉妹は特に覚えて祈りませ多数参加されるよう期待している。

ジョーンズ博士記念事業(16回)

- ▽四千五百円 江古田教会(東京)
- ▽三千円 鈴木加世子②(東北)
- ▽二、六〇〇円 利息(海老沢教分)
- 小計(二件)二九、一〇〇円
- (累計) 金 二、四三〇、九〇〇円

◆連盟賛助の祈り(二―三月)

- ▽三万円 池ノ上教会(東京城北)
- ▽二万円 東京城北アシュラム
- ▽五千元 南部ヨシ(東北・盛岡)
- ▽一千元 一光印刷所(東京)
- (累計) 金 三三三、五〇〇円

静聴の友

「アパ・ルーム」(隔月刊)

各種の「聖書日課」が出ていますが、家庭で日々に聖書による静聴をする人々のために超教派、超国家、超人種、立場に立ちベンテコステの超った二階部屋を連想しつつ体験からの証しを掲載している。世界三六国語に訳され、五〇〇万の読者が共に祈りを一つにしている小冊子で、アシュラムの精神と全く一致し、イエスを主とする兄弟にぜひ静聴の友として愛用して頂きたいものである。毎日一頁に聖書・聖句・立証・祈り・今日の黙想・筆者名・祈りの焦点が記載されている。一年六回隔月発行、定価九六〇円(千共)申込先・(二一八〇) 武蔵野市境南町 四一七―五アパ・ルーム委員会

東京都目黒区中央町1-21-10 聖文谷教会気付

参加者が何度でも読むべきもの アシュラムとは何か(前号)